

 おおひら

No.208

令和8年4月30日
発行



宮城県
大衡村議会

議会だより

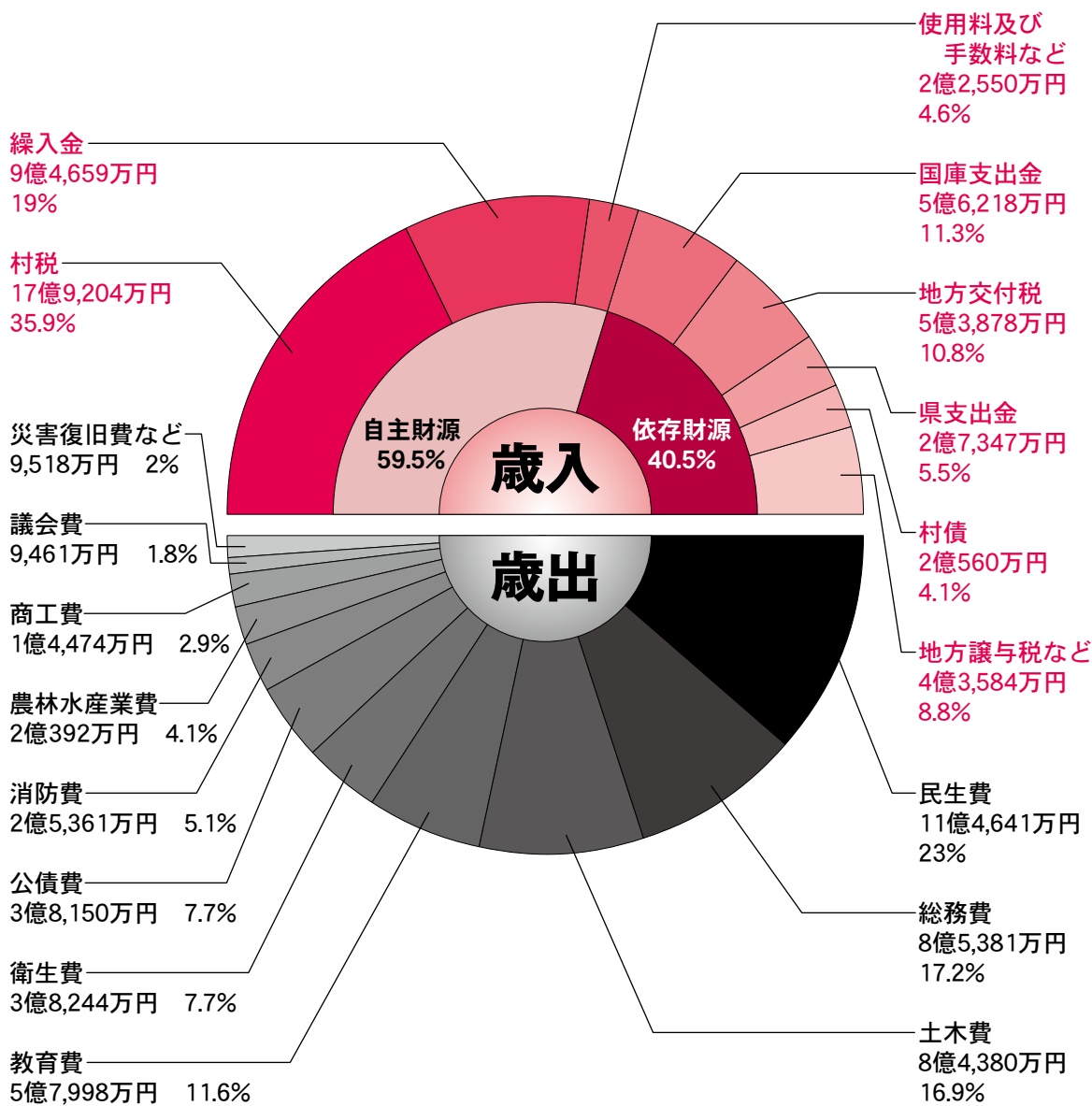


P2 令和8年度当初予算
P4 予算審査特別委員会
P10 一般質問

注意して渡ろうね
(小学校交通安全教室)

一般会計 49億8,000万円

令和8年度当初予算を可決



◎各種会計予算

会計別		予算額
特別会計	国民健康保険事業	5億6,600万円
	介護保険事業	6億7,400万円
	後期高齢者医療	8,230万円
水道	収益的支出	2億6,124万円
	資本的支出	1億2,653万円
下水道	収益的支出	3億7,900万円
	資本的支出	2億5,523万円

令和8年第1回定例会は、3月3日から13日までの11日間にわたり開かれ、令和8年度各種会計当初予算6件など25議案が提出され、全て原案可決された。

◆ 主な実施事業 ◆

村道改良

1億9,787万円

- ・尾西2号線
- ・五反田団地線
- ・沓掛団地線 など

五反田北住宅1号棟解体

1億3,440万円

- ・解体工事費

デマンド型交通

3,513万円

- ・業務委託料
- ・車両借上料
- ・運行システム料

農業環境整備

2,932万円

- ・大区画化支援事業
- ・農地条件整備
- ・農業用施設維持, 機能向上支援

有害鳥獣対策

2,512万円

- ・柿の木伐採
- ・有害鳥獣防止施設購入
- ・有害鳥獣駆除対策協議会補助金

子育て支援

439万円

- ・誰でも通園制度
- ・おうち子育て応援金
- ・紙おむつらくらく事業



五反田団地線

小中学校タブレット更新

5,498万円

- ・小学校 349台
- ・中学校 188台
- ・予備 80台



公営大衡塾

公営大衡塾

337万円

- ・夏期講習 小学4～6年生
- ・夏期講習 中学1～3年生
- ・冬期入試直前講習会

のお金は

令和8年度各種会計の予算を審査するため、予算審査特別委員会（委員長 赤間しづ江）が5日間にわたり開かれた。

特別委員会では各課などに質疑を行い、審議した結果、全会計とも「可決すべき」と決定し、3月13日の本会議で議長に報告した。

主 な 質 疑

高齢者タクシー

問 デマンド型交通はタクシー以上のサービスが図られており交通弱者の方々が喜んでいる。高齢者タクシー券の予算が50万円ほど減額しているのは、デマンド型交通の効果によるものか。

答 村民の生活、暮らし、通院通学におけるデマンド型交通の利用によるものと考えられ、タクシー券と上手に使い分けて利用してもらいたい。

美術館

問 美術館は指定管理により管理運営を外部委託しているが、現状は村で企画展等を開催している。令和9年からの指定管理更新に向けた管理の在り方を検討するべきではないか。

答 現在の指定管理委託は令和4～8年度の5年間となっている。次年度以降の管理運営について精査し検討をしていきたい。

紙おむつ支援事業

問 子育て支援に係る新規事業であるが詳細は。

答 村内に通園している0～2歳児クラスを対象に園で使用する紙おむつとおしりふきを無償で提供する。園と話し合い令和8年7月から開始する予定。

おうち子育て応援

問 在宅児童応援事業の詳細な内容は。

答 保育施設を利用せずに家庭で6カ月～満3歳までの乳幼児を保育している世帯を対象に月1万円を支給する。



布絵展（ふるさと美術館）

どう使う！村



毎日の登下校を支えるスクールバス

スクールバス

問 児童の主な通学手段となっているが令和7年度1台故障し修理している。今後の更新計画と財源は。

答 現在4台運行しており、それぞれ10年～25年経過している。購入には1台2000万円以上かかるため補助金や交付金の活用について情報収集していきたい。

小学校プール授業

問 小学校のプール授業の外部委託が実証実験されるが対象学年と詳細は。

答 学校プール施設の老朽化に伴い外部委託の検討が必要である。対象は4年生であり、6～9月の間で5回行う。

五反田北住宅解体

問 令和7年度に五反田北住宅1号棟の解体工事予算を全て減額した理由と令和8年度に予定される解体工事の見通しは。

答 令和7年度に予定していた解体工事は、国補助金が当初の2分の1しか内示がないため実施を見送った。8年度は人件費や資材物価高騰を見据え積算しており、国補助金の内示があり次第、解体工事に着手していく。

大瓜神楽

問 村の指定文化財である大瓜神楽に関する補助金が計上されていないが今後の伝承活動への支援は。

答 神楽の担い手不足により伝承活動が難しくなっている。保存会と意見交換しながら大瓜神楽を小学校の授業等で実施できないか検討していきたい。



キャンプ場で開催されたティラノサウルスレース

デイキャンプ場

問 タカカツ万葉パークキャンプ場は、3600人計画に対し、令和7年度利用実績は340人となっている。令和8年度の計画はどのようになっていくか。

答 同額で予算計上しているが内容を精査してドックラン、ペット入場可能、イベントの開催などを検討し、村を挙げて取り組んでいきたい。

農業補助事業

問 農業環境整備事業のうち、新規事業である国庫補助事業の概要は。

答 農業法人や組合を対象にした農地の区画整理事業補助である。国の補助金は約50%であり、村が40%加算して受益者負担を約10%に抑えて農地の集約化を図っていききたい。

水道窓口業務

問 水道窓口の民間委託等の計画はあるか。

答 本村では8年度から料金徴収から検針まで窓口業務を委託する予定。

なお、黒川地区の共同化の一環で同業務の共同委託を検討している。

河原座府地区計画

問 意見交換会を開催し、まとめた素案が県の認定を得られていない。これからどのように対応していく考えか。

答 地域コミュニティの維持のためにも、部分的にも整備を進めていくことが可能か、県と協議をしていきたい。

デマンド型交通

問 デマンド型交通は移動することが困難な方が対象なのか。村民は誰でも利用できるのか。

答 村民の買い物など生活や暮らし、通院通学の利用が趣旨である。娯楽等における利用は好ましくない。

指定管理料

問 公共施設の指定管理料が増額した理由は。

答 賃金、物価水準の変動などにより、万葉まちづくりセンターから管理料の変更について求められた。関係課と協議して対応していく。



みなさんの足となっている「のらいん」

国保会計

問 税率改定に伴い賦課区分ごとの税率や課税限度額はどのようになるのか。

答 賦課区分ごとに所得割等の税額は増となる。課税限度額は医療給付費が67万円、介護保険給付費が17万円、合計110万円になる。さらに新たに賦課される子育て支援金は課税限度額が3万円となる。

問 令和12年の県内統一税率に向けて村の税率改定の今後の見通しは。

答 県から示される国保事業費納付金額に見合った国保税を賦課徴収する必要があるので今後税率の改定をしていく。

総括質疑

※総括質疑とは

各課の予算審査において疑義のあることについて、改めて村長に質問すること。

鈴木 和信 委員

デマンド交通の利用

問 デマンド交通は、「通学手段の確保」と「交通弱者の交通手段」として一定の役割を果たしているが、村民全ての日常生活に必要な交通手段の確保を図る必要はないと考える。3500万円の費用対効果を考えて過剰サービスと言わざるを得ない。今後どのような利用を図るのか。

答 村民の日常生活の足を確保することは、村民の行動の活性化に繋がり「のらいん」の積極的な利用推進を図っていく。

問 デマンド交通はなぜ利用者が全て無料なのか、道路運送法における許可又は登録を要しない運送で対価を受けとることが出来ないためか。

答 大衡村のデマンド交通は無償による道路運送法における許可を要しない運送方式である。条件は違うが無償で実施している自治体は、6市町村がある。

大衡城の解体時期は

問 厳しい財政運営で令和9年度実施の大衡城解体はできないようだが、毎年の維持費や解体費用の上昇から、貯金（基金積立）をして、計画的に早急に解体をすべきではないか。

答 予算の目処が立てば実施したいと思う。

石川 敏 委員

予算編成方針

問 歳入予算のうち基金繰入金に19%を占めている。中でも財政調整基金から6億3千万円も繰り入れており、基金が枯渇することが危惧される。

公共施設の改修等今後増大すると見込まれる財政需要にどう対応するのか。

答 今後多額の財政需要も想定され本村の財政運営は厳しい状況である。

予算編成にあたっては村税や補助金、ふるさと納税等の各種財源確保に取り組んでいく。財政調整基金も適切に運用し適正な財政運営に努めていく。

問 村の各種施策事業の自己点検評価としてP（計画）D（実行）C（評価）A（改善）サイクルを制度化して、毎年度の予算編成や事務事業選定に生かしていくべきではないか。

答 物価高騰や人件費、義務的経費が増大している状況である。社会情勢の変化を的確にとらえ、既存の事務事業を見直し、必要性や緊急性、費用対効果を検証して施策事業を選択していく。

補正 予算

五反田北住宅 解体工事を延期

補正の主なもの

◎歳入

村税（法人村民税）	4,000万円
地方交付税	8,114万円
社会資本整備総合交付金	△5,650万円
防衛施設整備調整交付金	5,607万円
基金繰入金	△2億7,136万円

◎歳出

学校給食センター運営基金積立	3,748万円
子育て医療費助成基金積立	2,011万円
五反田北住宅解体工事	△1億970万円



しっかり手をあげて渡りましょう（交通安全指導）

交通安全指導隊

問 各行事での交通整理、街頭指導等を行っているが106万円の減額補正した内容は。

答 報償金、費用弁償、旅費と年度未退任による減額である。現在は11名で活動を行っている。

問 定員16名で地区によって人員にバラツキがある。今後の人員確保は。

答 各地区にバランスよく配置し各交通の要所で活動していただく。引き続き勧誘に努めていく。

給食食材費

問 給食センター賄い材料費103万円追加の理由は。

答 物価高騰もあり食材の支出見込みが増額したためである。野菜においては2倍以上にキロ単価が上がっている。

補正予算編成

問 年度末3月に毎年相当額の予算減額補正されている。事業執行済での減額が未執行での減額か、効率的な予算編成執行がなされているのか。

答 村営住宅解体工事が見送りになり、予算は全て減額したが、概ね事業執行による残金や入札執行残金を減額したものである。予算全体としては、適切に執行している。

選任
同意

監査委員の選任

大衡村監査委員を任命することについて、議会の同意を求められ、無記名投票による採決の結果、同意しました。

任期 4年（令和8年3月13日～令和12年3月12日）

採決結果
賛成11 反対0



わいずみ 和泉 氏
ふみ お 文雄 氏

条例
改正

改正された主な条例

- ・ 乳児通園支援基本条例（こども誰でも通園制度）
- ・ 大衡村非常勤消防団員に関する条例
- ・ 大衡村国民健康保険税条例

誰でも通園制度

問 国が行う子育て支援事業だが詳細と申請方法は。

答 保育施設に通っていない子どもを対象に1カ月10時間まで利用でき1時間あたりの保護者負担は300円である。村に申請し、認定証を受け取ったのちに利用する園と面談を行うこととなる。

消防団

問 機能別消防団員40名の業務は後方支援ということだが、その内容の周知徹底を図っているのか。

答 有事の際機能別団員と現役団員とが連携することが重要で後方支援の活動範囲が明確ではなかったため基本団員を含め、改めて周知する。

国民健康保険

問 税率改定により国保税総額で令和7年度と比較していくら増額になるのか。

答 令和8年度当初予算で国保税額は1296万円増額になると見込まれる。さらに子育て支援金分を含めると国保税全体で1529万円になる。

問 税率改定により被保険者の税額は全て増額になると見込まれるが国保加入世帯に対する周知説明をするべきではないか。

答 国保税の改定について被保険者の方に理解をいただけるように説明していきたい。

一般 質問

9名の議員が村政を問う

質問者一覧表

鈴木 和信

- ・どうなる蕨崎地内信号機設置は
- ・今後の大衡城の利活用について問う
- ・地区ごとに未来予想図作成を

細川 運一

- ・国道4号拡幅関連用排水路整備事業の進め方は
- ・役場をどのように変えていきたいのか

石川 敏

- ・子育て支援制度の拡充を

小川 克也

- ・住民の声を反映した村づくりを

山本 信悟

- ・災害時の危機管理は万全か

佐々木 金彌

- ・これからの学校教育を問う

赤間 しづ江

- ・職員の働き方改革について
- ・五反田住宅集会所の現状と利活用は

佐野 英俊

- ・村長の任期集大成の思いを問う
- ・特定目的基金のあり方を問う

遠藤 昌一

- ・緊急通報システムの貸与について
- ・消防団の訓練のあり方について

議会を 傍聴してみませんか

皆さんが選んだ議員がどのような質問・発言をしているのか、村の執行部がどのような施策を考えているのか、是非議場で傍聴してみませんか。

次の定例会は

6月2日(火)

からの予定です

お問合せ先:大衡村議会事務局

☎345-6030

✉ gikai@village.ohira.miyagi.jp

※会議録は大衡村議会ホームページで閲覧できます。



かずのぶ 鈴木 議員

どうなる蕨崎地内信号機設置は 村として答える立場にない

問 国土交通省や村で、令和8年度開通の国道4号に、信号機が付かない可能性があると住民に話したと聞くが、その真相は。

村長 信号機の設置は宮城県公安委員会に要望しているが、その結果は受けていない。

問 信号機がなければ、住民は横断できず事故の危険性が高いので、確実に設置するよう再三要望を願いたい。

村長 村として3月2日に大和警察署に要望書を提出したが、村が決めるわけではないが今後も要望していく。

大衡城の利活用は 令和9年度に解体予定

問 解体を予定しているが、シンボルタワーでもあり、解体するには惜しいという村民の声があるので、利活用の希望調査をしてはどうか。

教育長 大幅な耐震補強・外壁補修・シロアリ被害等利活用には多額の経費がかかるのでこれまでどおり解体とする。



傷みが進んでいる大衡城青少年交流館

地区の未来予想図を

地域の課題解決に取り組む

地区の未来予想図を

問 村では様々な長期計画を作成するが、業者に委託をして作成するため、村全体の計画となり各地区の実態や将来展望が反映されず、地区により格差を生ずることとなる。

地区の実態をまとめた未来予想図（地域力ルテ）を作成して村全体の計画を作成すべきである。

村長 村としては、少子高齢化が進むなかで、地域に様々な課題があることは認識している。4月から機構改革を実施し、政策企画部門の独立強化を図り、あらゆる手段を用いて地域の課題解決に取り組んでいく。

国道拡幅に伴う用排水路の整備は 工事の進捗に合わせ対応する



整備中の針東用排水路（衡上地区）



ほそかわ うんいち
細川 運一 議員

問 農業用排水路の確保と降雨等の出水による被害を防止するために、水路の改修が計画され、これからの整備の進め方は。

村長 令和2年度に調査した7水路のうち整備が必要なのは6水路である。針東

地区の用排水路については今年度事業として整備を進めている。

問 待井沢からの用排水は、国道4号を横断して埋川に流入する。降雨により水があふれる水路の整備は。

村長 効果的な手法として、上流部に排水機能を有する調整池を設置して、下流域の負担を軽減する方針である。財源の調整が出来次第、補正予算での計上を行い、速やかな整備に着手したい。

役場をどう変えていくのか 村民に役立つ場所に

会計年度任用職員

問 正職員が公務員としての業務に集中するために、会計年度職員を募集したが状況は。

村長 28名から申し込みがあり、そのうち24名が試験を受けた。現時点では7名の採用を予定している。

問 正職員と会計年度職員が担うそれぞれの業務が庁内で整備されているのか。

村長 令和8年度では会計年度職員には、窓口や電話での初期対応、メール等を含めた文書收受や発送事務などのノンコア業務の一部を担ってもらおう。

挨拶が基本

問 親切的な役場を目指して欲しいが、村民にとって役に立つ役場にするための考えは。

村長 挨拶がきちんとできる職員の育成をして、業務改善や人材育成を進めていく。



いしかわ 石川 さとし 敏 議員

0～2歳児保育料も無償化を 実施できる時期を考えていく

各種支援金

問 子どもの出生から年齢ごとの各種子育て支援制度の実績は。

村長 令和7年度見込みで出生祝金が22人110万円、子育て支援券が6人95万円、小中高校入学祝金が合計172人516万円、無料である学校給食費は食材費として約3600万円かかっており、村外小中学校に入学している児童生徒25人にも支援している。

さらに18歳までの医療費は6年度実績で3144万円となっている。

子ども園保護者支援

問 村内の認可保育施設に入園している児童の保護者に対する支援内容は。

村長 保護者の負担軽減支援として教材費、給食費、通園費、施設整備費、布団リース料として保育施設に補助しており、7年度は合計672万円の見込みである。

保育料無償化

問 国の制度では現在3～5歳児の保育料は無償化されているが、0～2歳児は有料である。本村でも県内他市町に先駆けて無償化にできないか。

村長 全年齢の保育料無償化は理想であるが、現時点では財源面で厳しい現状であり、保護者負担軽減として村独自の各支援策を実施している。優先順位を決めて取り組んでいきたい。

特定財源の活用

問 子どもの出生数は年々減少傾向であり、子ども支援にかかる財源も見通しがたつと考えられる。防衛施設調整交付金やふるさと納税寄付金を活用すれば、子育て支援制度を拡充できるのではないか。

村長 防衛交付金は医療費助成や学校給食費、デマンド型交通にも一部財源としている。企業版ふるさと納税も各企業に働きかけており、村の大切な子どもたちのために財源ができる時期に取り組んでいきたい。



未来を担う子どものために（おおひら万葉こども園）

届け住民の声を村づくりに 村政運営の参考にしていく



おがわ かつや 議員
小川 克也

取り組み状況

問 住民の声を反映した村づくりの考えと、その取り組み状況は。

村長 直接住民の声を聞くことは極めて重要である。要望のある地区に対して村政座談会などを開催している。

榎田川

問 昨年6月、榎田川が集中豪雨で冠水し周辺の農地に深刻な影響をもたらした堆積土砂の撤去をしてほしいと、中東地区村政座談会で要望があったが、どのように考えているのか。

村長 県管理分であり、令和8年度中に国道4号付近の堆積土砂撤去を実施すると聞いている。

図書室

問 平日仕事で利用できない住民がいる。図書室の土・日開館はできないのか。

村長 これまで多くの方から要望をいただいております。図書室への期待が高まっていることを実感している。試行で7月の土曜日9時～13時で開館する方向で検討している。

塩浪地区法面

問 近年、草木の伸びるピークが変わってきている。塩浪地区法面の除草回数を増やすことはできないのか。

村長 作業時期の調整などで改善できないか検討していきたい。

問 高齢化により除草作業の担い手不足が懸念される。除草作業に対する支援策として、村で住民に草刈機を貸出しているかどうか。

村長 今後、何が必要とされるのか考えていきたい。

こども議会

問 小学生が議員の役割を体験する『こども議会』が実施された。こども達の要望や意見が村に反映できるものは何か。

村長 街灯や道路の補修など身近な課題については、速やかに対応していく。

問 ショッピングモールや、飲食店を村にほしいというこども達の率直な声がある。誘致できないのか。

村長 こども達の要望・意見が一つでも多く叶えられるように、今後の村政運営の参考にしていきたい。



村長さんショッピングモールがあったらいいなあ（こども議会）



やまもと 山本 しんご 信悟 議員

災害時危機管理は万全か 関係機関と連携で強化

安否確認と指示

問 東日本大震災から15年経過し、大船渡林野火災で3300ha焼失し40日間燃え続ける災害や、近隣でも住宅火災が発生している。災害時での職員家族の安否確認と指示体制はどのようなようになっているか。

村長 災害発生時は、自身と来庁者の安全確保、被害情報収集にあたることとなっている。適宜に家族の安否と災害確認の上、配置基準に従い、職員災害初動マニュアルに基づき副村長・教育長・関係課長に指示を行う。

職員居住地

問 職員の村内、村外居住者の人数は。村内居住職員であれば、災害時も早めの対応ができるのではないか。

村長 2月1日現在正職員100名で村内居住者30名、富谷・大和・大郷に36名、その他地区が34名である。地域性が分かる職員とパトロールを実施し、住民とコミュニケーションを大事にしている。

職員派遣

問 災害時各地域への職員派遣は、村内居住職員はその地区で活動しているが、派遣はどう考えるのか。

村長 災害発生した際、避難所開設した地区に対し行政区連絡員を派遣することとしている。被害の状況によって担当業務を踏まえ柔軟に対応する。

関係機関の連携

問 災害時の関係機関と連携体制は、どのような体制で行うのか。

村長 有事の際は、速やかに連絡がとれる体制で、黒川消防署とは専用スマートフォンで、毎日通信テストを行っている。

国土交通省とは、村長に直接国の責任者と連絡がと

れる「緊急時のホットライン」体制である。

問 副村長が県で危機管理の部署で活躍していたが、大衡村で必要なことは。

副村長 危機管理体制で大事なことは日頃の訓練である。地震、林野火災を含め、体で覚え身に付けるため可能な限り訓練をしていきたい。



大切な命を守るために（防災訓練）

これからの学校教育を問う

誰もが安心して学べる学校へ



さ さ き きん や
佐々木金彌 議員

学力向上

問 全国学力テストにおける大衡小中学校の評価は。

教育長 中学校の国語が全国平均と同程度で、小学校の国語、算数、理科と中学校の数学、理科は平均を下回っている。

問 今後の学力向上策は。

教育長 小中学校において結果の分析を行い、課題や要因を明確にして授業改善を進めている。また学力を身に付けるためには学級づくりや、家庭学習等の環境づくりが重要である。

家庭学習

問 学校以外での学習時間の確保が必要と思うが。

教育長 小学校では学年ごとに、中学校では教科ごとに課題を出している。本村では、小中学校ともに授業以外の学習時間が少なく、家庭学習の充実、促進が必要である。

問 家庭学習環境のあり方は。

教育長 家庭における学習環境も重要であり、保護者にも必要性や大切さを伝え、協力の啓発を図っていく。

部活動

問 中学校の部活動の現状は。

教育長 中学校の部活動は、令和6年度から任意加入となり、各部とも教師が顧問をしている。

問 外部指導者の役割や活動の実態は。

教育長 外部指導者はボランティアであり、技術等の専門的な指導を校長が承認している。国は目標として、令和10年までに原則休日の部活動を地域展開することを目指している。本村も『地域展開検討委員会』を設置し、推進している。

不登校の現状

問 年間30日以上欠席が不登校と判断され、宮城県が全国1位と発表された。大衡村における現状と対策は。

教育長 本村でも増加傾向にあるが、不登校の要因は複雑多様であり、保護者や関係機関と連携し、個々に応じた支援を図っていく。心のケアハウスや別室での学習も行い、誰もが安心して学べる学校生活を考えている。



大衡中学校の授業風景



あかま 江しづ 議員

職員の働き方改革は 風通しの良い職場環境を目指す

職場体制

問 課の再編により9課から13課となって新年度がスタートする。条例で定められている職員定数、4月1日現在の正職員数、そのうち新規採用人数、会計年度任用職員数は。

村長 条例定数は1111名であるが、正職員数は102名で、うち新規採用は3名である。会計年度任用職員は56名となっている。

人材育成

問 課再編の目的に人材育成を挙げていますが具体的な考えは。

村長

日常業務を通じて職場研修を充実させ、「管理者マネジメント支援シート」を導入するなど職員員の資質向上を図っていく。

時差勤務

問 働き方改革の一環として令和8年度中に時差勤務制度導入を検討するとしているがスケジュールは。

村長 導入時期については機構改革で体制が変わることから、4月開始ではなく8年度の早い時期からと考えている。

職場環境整備

問 職員が健康でやりがいを持って働くことができる職場環境をどう構築していくか。

村長 時差勤務制度の導入やDXによる業務改善などにより、労働時間の短縮に取り組む。「職員の身上調査」を行ない職務の適性を考慮し、配置換えなどで風通しの良い職場づくりに努めていく。



13課体制で新年度がスタート（役場庁舎内）

五反田住宅集会所の利活用は アンケートを実施し検討

問 村営五反田住宅地内に建築された集会所は、利活用実績がない。今後の利活用をどう考えているのか。

村長 住宅入居者の集いや親睦融和を図る場としての利用が望ましいが、入居者アンケートを実施し、利活用を検討したい。

村長の任期集大成の思いは 村民の声に向き合って



佐野 英俊 議員

公約の達成感

問 「夢叶え 笑顔で元氣大衡村!!」をスローガンに掲げた公約の達成感は。

村長 まだ道半ばであり、残された任期も村民の声を即時対応すべく、現場のニーズを捉え虚心坦懐に受け止め、財政健全化と安定的な行政サービスの維持に取り組む。

残される課題

問 任期4年の最終年度を迎えるが、残される課題は。

村長 達成したもののなかにも検証が必要とされるものや、拡充を考えなければならぬ事業もある。一つ一つ丁寧に考察しながら、誠心誠意取り組んでいく。

意気込み

問 残された任期1年への、村長の意気込みは。

村長 この1年が本村の将来を左右する重要な期間と認識しており、「持続可能なまち」の実現に向け、初心を忘れず「現場主義」を貫き村民の皆様の声に向き合っていく。

特定目的基金のあり方は 有効活用と効率的な運用で

基金の保有額

問 村が設置する基金は23基金で、令和6年度末の残高は52億9百万円である。各目的基金の保有額の考え方は。

村長 保有額は条例で金額を定めているものが、人材育成基金の3千万円をはじめ4基金で、その他19基金は予算で定めた額の範囲内としている。

財政調整基金

問 財源不足時に活用できる財政調整基金の残高は12億2千7百万円である。増やす考えは。

村長 財政調整基金は積立と取崩しを行い毎年度運用している。福祉サービスに要する扶助費なども膨らんできており、同基金の増額による財源確保は重要と考える。

必要性の検討

問 特定目的基金は時代の要請で設置されたものもある。必要性の検討は。

村長 目的が達成されたものの、長年活用のないものや基金額が少額で運用益が見込めないものは、廃止や整理統合してきた。引き続き見直しを行い、基金の有効活用と効果的な運用に努めていく。



執務中の小川村長



えんどう まさいち
遠藤 昌一 議員

緊急時の備えは

システムを活用し村民に寄り添う

問 緊急通報システムは、主に一人暮らしの高齢者を対象としている。若い世代でも病気を抱えている等、対象者を拡大する考えはないか。

村長 通報システムは、体調不良やケガをした際、24時間体制でコールセンターに健康相談できるものとなっている。
利用対象者は、日常生活に不安を抱えるなど個々の事情に寄り添った対応が可能としている。

消防団訓練のあり方は 実情に応じて柔軟に対応

操法訓練

問 消防団員の技術を競う操法大会への参加は負担もあり、見直しする考えはないか。

村長 毎年6月に大衡村消防演習を開催し、2年に1回開催される黒川地区消防操法大会に向けて部隊訓練等を実施している。
有意義な機会であるが、一部団員の負担となっている面もある。そのため、各分団の意向を確認しながら柔軟に対応していく。

出動手当

問 出動手当時間制の廃止に対する考えは。

村長 現在の出動手当は火災、災害等の別に関わらず4時間以内の出動が4千円、4時間を超える出動が8千円となっている。国の動向や他自治体の状況を踏まえ、現状を維持したい。

問 各分団の任意で行う訓練の奨励と手当を支給する考えはあるか。

村長 村で調整した訓練以外に分団独自に訓練をした旨申し出があった場合には、訓練手当を支給していきたい。



有事への備えを万全に（消防操法訓練）

母子モ

アプリ名：『おおひらにここに子育て
応援アプリ by母子モ』

運営費：264,000円／年

住民利用料：無料

機能：母子手帳・情報発信・アンケート機能

新規登録者：令和5年 61名

令和6年 31名

令和7年 12名



情報交換するお母さん

◆調査結果意見

育児中の家族をサポートする一元的な情報発信が可能なアプリとなっている。アプリを通じて安心して子育てができる環境を促進していただきたい。

特別敬老祝金



支給実績

	99歳	100歳	合計
令和5年度	60万円(2名)	110万円(4名)	170万円(6名)
令和6年度	150万円(5名)	110万円(4名)	260万円(9名)
令和7年度	150万円(5名)	205万円(5名)	355万円(10名)

※令和7年度は12月末現在

◆調査結果意見

長年村内に住所を有した方で、村外の施設に入所された方が支給対象外であったが、対象内にしていく考えである。また、村内の施設に入所している他市町の被保険者を、対象外としていく考えでもあった。(3月定例会で条例改正)

公式ウェブサイト

リニューアル経費

初期費用：8,991,500円

運営費用：2,178,000円／年

リニューアルのポイント：

- ・情報を探しやすいトップページの構築
- ・移住定住及び子育ての情報を構築
- ・能動的発信力の強化

◆調査結果意見

これまでのウェブサイトは、探しにくさや円滑に利用できないといった弱さがあった。リニューアルにより、住民が必要情報へ迅速に到達でき、随時情報も発信できる環境づくりに努められたい。



リニューアルした村ホームページ

調査年月日：令和8年2月12日・13日

学力向上

語学研修

目的：生徒の実践的な英語力を養い、将来にわたって地域社会や国際社会で活躍できる人材育成。

実施期日：令和8年8月9日(日)～10日(月)1泊2日

行き先：福島県岩瀬郡天栄村 ブリティッシュヒルズ

対象者：大衡中学校 1～3年生 選抜15名

予算額：75万円



体験型英語研修施設（ブリティッシュヒルズ）

英語検定

目的：英語力向上及び自主学習の取り組み。

検定範囲：実用英語検定（準2級、3級、4級、5級）

※準2級は高校中級程度、5級は中学初級程度

◆調査結果意見

学校教員と連携を密に児童生徒の学力と語学力向上に努力されたい。

上北沢排水処理場

パイロットスケール試験

上北沢

抗廃水不純物が
含んだ水

ばっ気で鉄を
沈殿

人口湿地で鉄
を植物に吸収

石灰石浸透で
pH安定浮遊物
ろ過

駒場川
排水放流

楳田

抗廃水不純物が
含んだ水

貯水池で溶解
鉄を沈殿

pHの水質改善

石灰石浸透で
pH安定浮遊物
ろ過

楳田川
排水放流



整備中の排水処理施設

工期：令和7年10月31日～令和8年3月13日

◆調査結果意見

本格実施に向けたデータの収集と、今後の予算計上に向けた計画策定に努められたい。



大衛小学校 6年
しんや ゆい の
新谷結衣乃 さん

うけつぐん

私の将来の夢は、原爆を語る人になることです。私は小学4年生の頃から、国や歴史に興味を持っていて、よく本や動画などで調べていました。その時に原子爆弾のことを知

りました。知れば知るほど、「この出来事は忘れられてはいけない出来事で私も受け継いでいきたい」と思いました。そこから原子爆弾について、たくさん勉強しています。私はこれからも勉強に取り組み、分かりやすく原爆を学べるような本を作りたいです。その本を読み、子どもから大人まで世界大戦や原子爆弾について勉強できると嬉しいなと思います。



大衛中学校 3年
おおしま りく
大島陸 さん

スポーツに関わりたい

僕は中学生になって、ソフトテニス部に入部しました。ソフトテニスはやったことがなく、中学生になってから始めました。最初はうまくいかず、楽しさを感じることができません

わたしの夢

でした。それでも、みんなと練習を続けるうちに、ソフトテニスの魅力や仲間と共に活動するおもしろさを感じる事ができるようになりました。その時にスポーツに関わる仕事に興味を持つようになりました。二年生になってスポーツ用品店で職場体験をしたのも、その理由からです。将来はスポーツに関わる仕事に就き、僕が感じたようにスポーツの楽しさを、みなさんに味わってほしいと思っています。

「最大の壁が日本語」

私は、平成7年6月に衡中地区出身の母と中国人の父との3人で中国から帰国し、中国帰国者定着促進センターでの4ヶ月の日本語研修を終え、母のふるさと大衛村に転入し、今、建設会社「松川土木」で働いています。

当時の悩みは言葉の問題で、特に高齢の父は日本語習得が困難でした。あいさつ程度の日本語しか話せない私に、同僚から最初に教えられた言葉

衡中北

あべ しょうは
安部 洪波 さん

は「離れる」でした。

土木機械や重機の周りには慣れていない人でも細心の注意が必要で、仕事を通じて身近な言葉から一つひとつ覚え、母のふるさと大衛村に転入し、今、建設会社「松川土木」で働いています。母のふるさと大衛村に転入し、今、建設会社「松川土木」で働いています。母のふるさと大衛村に転入し、今、建設会社「松川土木」で働いています。

みんなの声



重機の操作は常に慎重に

大衛小学校で全児童が参加した交通安全教室が開かれました。新一年生も左右確認して横断歩道を渡っていました。

表紙写真

あとがき

新緑がまぶしい季節を迎えました。課再編でスタートした新年度一般会計当初予算は約50億円。皆さんの暮らしにどう生かされているか、しっかりお伝えできる議会だよりの編集に努めてまいります。

赤間 しづ江

- 大衛村議会
広報広聴常任委員会
- 委員長 赤間しづ江
委員分科会
- 会長 石川 敏
副会長 小川 克也
委員 鈴木 和信
早坂 美華
山本 信悟
- 発行責任者 議長 高橋 浩之

